

2013年6月7日

京都府知事 山田啓二様

日本共産党京都府議員団
団長 前 窪 義由紀

高浜原発3．4号機の再稼働申請に反対し、もんじゅ・敦賀原発の廃炉、 大飯原発の運転停止、原発からの撤退を求める申し入れ

関西電力㈱の八木誠社長は、高浜原発3．4号機の再稼働に向けて審査申請の方針を明らかにしました。しかし、高浜原発は、30キロ圏内だけでも13万4千人の府民が生活しており、再稼働は絶対に認められません。

第一に、東京電力福島第一原発の事故は、収束どころか事故まっただ中の深刻な状況です。事故発生時の10倍もの放射能を含んだ莫大な汚染水が増え続け、外部に流出する危機的事態の瀬戸際にまできているのが実態です。

第二に、安倍首相が、当初のべていた「世界最高水準の安全基準で、安全が確認された原発は再稼働する」という方針が、根底から破綻しています。この間、首相は厳しい批判におかれて、原発に「絶対安全はない」ということを認めざるを得なくなりました。

第三に、安倍内閣が原発再稼働のためにまとめた原発「新規制基準案」には、各原発の地震・津波想定に関する具体的数値の定めがありません。これでは地震や津波の想定値について、電力会社の裁量でいくらでも甘い想定を決めることができます。

第四に、関西電力は、大飯原発の活断層の可能性をいまだに認めようとしないなど安全対策に取り組む姿勢が根本的に欠如しています。

このような問題点が明らかになったもとの、関西電力が高浜原発3．4号機の再稼働申請を行うこと自体、断じて認められません。

一方、日本原子力発電の敦賀原発2号機の真下を走る破砕帯は、原子力規制委員会によっても活断層と断定されました。敦賀原発2号機は廃炉以外にありません。また日本原子力研究開発機構の高速増殖炉もんじゅは、1万ヶ所もの点検を怠り是正指導に従わないなど安全対策の欠如が明確となり、原子力規制委員会から運転停止を命じられました。もともと危険なもんじゅは、廃炉にすべきです。

従って、府民の安心安全を守るために、以下の事項について、関西電力など電力事業者と政府、原子力安全委員会に要望するよう強く求めるものです。

記

1. 高浜原発3．4号機の再稼働申請に反対すること
2. 敦賀原発2号機と高速増殖炉もんじゅの廃炉を求めること
3. 大飯原発を直ちに停止し、すべての原発からの撤退を決断すること

以上